



つくしぐみだより

1月号



2022・1

お正月休みはいかがでしたか？久しぶりに会った子どもたちはまた少し大きく成長しているように感じました。
進級まで残り3ヶ月。寒さに負けず、一日一日を元気に楽しく過ごしていきたいと思っています。
本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

食育活動

野のはな保育園では、クラス担任が給食室の職員と一緒に、年齢に応じた食育活動を考えています。

つくし組では「野菜ちぎり」のほかに「ホットケーキ」を焼く調理過程を見て「いいにおい」と焼きたての匂いを感じ、「あったかい」「フワフワ〜」と食感を言葉で表す子もいました。そして、「りんご・柿」など旬の果物を目の前で剥いてもらい「半分にするってこんな形だね」「触るとツルツルしてるね」と食に興味を持ち食欲に繋げる活動をしています。食事の時には調理の先生が「おいしいですか〜？」と見に来てくれ「内田先生おいしいよ」「わたしにんじんたべたよ」と会話がはずむ中で、一人ひとりの食べ方を見て調理形態を変えたり、どうしたらおいしくお腹いっぱい食べてもらえるかを一緒に考えています。

「ホットケーキ焼くよ〜」



まぜまぜ くるくる



あったかくて おいしいね



フワフワ〜



「きょうは柿をむきまーす」



ツルツルしてるね



シャリシャリおとがするよ



=「イヤイヤ」「じぶんで」=

つくし組の子どもたちは自我が芽生え自分の思いを伝えようと日々葛藤しています。

「こうしたい」という自分の気持ちが生まれるものの言葉数が少ないためうまく表現ができません。そのもどかしさが「イヤイヤ」です。「じぶんで」「イヤ」と言えるのは自分の考えを持つという自我の芽生えであり自立に向けての大切な成長の始まりです。

子どもたちの気持ちを「どうしたの？」「こうしたかったんだね」と聞いてあげることで「自分をわかってもらえた」と安心して気持ちが落ち着きます。こうしたやりとりを重ねていくことで子どもも「自分の思いを言葉にしよう」としていきます。

子どもたちは日々学んでいます。少しずつ自分の気持ちを言葉で伝えようとする子に育ててほしいと願っています。

毎日時間に追われ忙しい日々の中での子育ては大変です。行き詰ったらお話しください。一緒に考えていきましょう。